

5 学校、地域との連携事業

美術作品鑑賞教室

事業内容

所蔵作品や鑑賞補助教材を活用した授業や講座を出張して行うことにより、学校や地域における美術鑑賞活動を支援し、館と学校や地域との相互交流を促進する。

(1) 美術作品鑑賞教室（作品持参）

今日の学校における美術教育では、生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって生涯にわたり主体的にかかわっていく態度を育むことが求められ、表現と並んで鑑賞指導の重要性が認識されていることから、児童・生徒の美術への関心や鑑賞力を高めることを目的として、当館が所蔵する美術作品を学校に持ち込み、本物の美術作品に身近に接する機会を提供する。

①安芸太田町立加計小学校

「表現と鑑賞を一体化させた学習活動」との学校側の意図を受け、「顔」をテーマとしてさまざまな表現法（技法・材質等）による顔を鑑賞することにより、作品の自分なりの読み取りと表現活動への参考とすることをねらいとした。

実施月日：平成25年10月30日(水)

鑑賞作品：和高節二《旅芸人の顔》、檜山武夫《自画像（黄色い）》、名井万亀《爆発》、
三輪休雪《面会人》、圓鏝勝三《婦人像B》

参加人数：5 - 6年生27名（3 - 4年生29名が自由鑑賞）

授業実施：宮本真希子、山下 寿水

②北広島町立大朝中学校

「モノづくりの精神を学ぶ」「広島の工芸品に親しむ」をねらいとして「広島ゆかりの工芸作品を鑑賞する」をテーマとした。材料、道具、用途、美しさ、制作の手順などモノづくりの基本と現代生活で失われつつある伝統的な暮らしや工芸品について学習する機会を提供した。

実施月日：平成25年11月6日(水)

鑑賞作品：五代金城一国齋《高盛絵四季寄花硯箱》、二代小松寿山《松丸盆》、
山根寛齋《玉椿空彩箱》、今井政之《象嵌彩窯変ぎざみ香炉》

参加人数：1 - 2年生38人、3年生23人

授業実施：宮本真希子、山下 寿水

③県立尾道特別支援学校

幻想性や象徴性のある具象的表現の作品を選定し、画中のモチーフや描かれ方（色、形、視点等）を手掛かりに、自由な発想を楽しみながら対話により解釈を広げ深めて、作品世界を豊かに鑑賞することをねらいとした。

実施月日：平成26年1月9日(木)

鑑賞作品：太田 忠《巨木のある風景》、角 浩《平和のメリーゴーランド》、
浜崎左髪子《青夜》

参加人数：聴覚障害幼・小・中学部15名、知的障害小・中学部31名、知的障害高等部30名

授業実施：宮本真希子、山下 寿水